



武家屋敷「春蘭亭」  
(登米)

登米町内に現存する武家屋敷は多数ありますが、その中の一つに観光客のお休み処として利用されている「春蘭亭」があります。

春蘭亭は、登米伊達初代藩主の相模宗直公が慶長9年(1604)に、岩手県水沢城から登米に移る際、共に移住した鈴木家の屋敷です。ほかの武家屋敷が別棟として書院座敷を本屋の前面に配しているのに対して、書院座敷に相当するものを別棟とせず、直接本屋の上手へ取り込んだ「直ご家形式」となっています。この形式は上層家中

侍住宅としては珍しく、貴重な侍住宅遺構といえます。

前述の鈴木氏は、現在の和歌山県である紀伊の国、熊野の鈴木氏から分かれた一族で、平成元年に屋敷を登米町に寄付しました。町ではこれを受け、屋敷内に囲炉裏を囲む喫茶コーナーを翌年にオープンし、それ以来、多くの利用者に愛され続けています。

これからの時期、名称の由来にもなっている春欄入りの「春欄茶」を飲みながら、春の足音を肌で感じてみてはいかがでしょうか。

【所在地】登米市登米町寺池桜小路79番地  
【問い合わせ】春蘭亭 ☎ 0220 (52) 2960

歴史博物館

広報ミニ展示室 23  
= 杜若八橋文様 =



杜若八橋文様浴衣(巨理家伝来)は、現在歴史博物館で展示中です。

この文様は巨理家伝来の浴衣に染められているものです。文様の由来は、「からころも きつつなれにし つましかれば はるばるきぬる たびをしぞおもう」の歌にあります。六歌仙の一人在原業平が三河の国の八橋で読んだ歌で、「伊勢物語」の「東下り」に登場します。歌の五七五七七の最初の字を拾ってみると、「かきつばた(杜若)」になり、杜若と八橋を組み合わせた文様は古典文学の世界を表現しているのです。

スポーツ講演会

“不可能を可能に”

3/20 (祝)

講師

ゼッターランド・ヨーコ  
～スポーツキャスター～



ゼッターランド・ヨーコさん

【プロフィール】日本名：堀江陽子。1969年米国サンフランシスコ生まれ。父は米国人、母はバレーボール元全日本代表セッターの堀江方子(まさこ)。6歳のとき日本に移住。12歳からバレーボールを始め中学3年で全国優勝。その後、全日本ジュニアメンバーとしてアジアジュニア選手権で優勝。早稲田大学卒業直前に渡米し、米国ナショナルチームのテストに合格。92年バルセロナ五輪で銅メダルを獲得。96年実業団の東芝を経て97年ダイエーとプロ契約し、2年間の在籍中にVリーグ優勝1回、全日本選手権2連覇に貢献。その3大会すべてにおいてベスト6を受賞する。99年、現役を引退。現在はスポーツキャスターとしてテレビ、ラジオ出演のほか、後進の指導、エッセー執筆、講演、バレーボール教室など幅広く活躍。

- 日 時 平成20年3月20日(祝)午後2時～ ※開場午後1時30分
- 場 所 登米祝祭劇場(大ホール)
- 入場料 無料(全席自由) ※整理券必要
- 整理券 教育委員会各事務所、迫体育館、登米・中田総合体育館、登米祝祭劇場で、3月3日(月)から配布します(郵便では受け付けません)。
- 問い合わせ 教育委員会体育振興課 ☎ 0220(34)2649



「モバイルとめ」もご利用ください。  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>